

平成24年度名古屋市立大学FD講演会が開催されました

平成24年12月14日(金) 15:00から約2時間、滝子(山の畑)キャンパス3号館101教室にて、平成24年度FD講演会が開催されました。

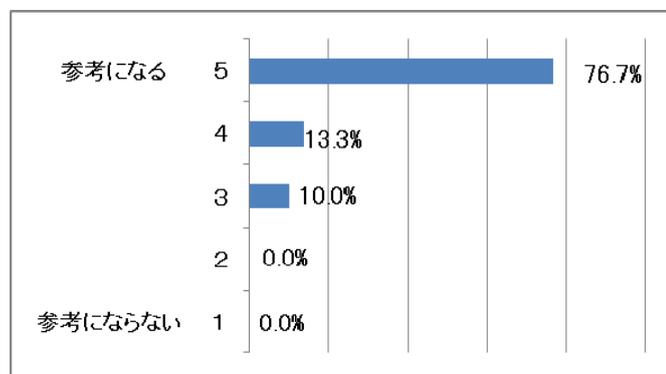
今回は、武庫川女子大学教授であり小児科医の石川道子先生を講師としてお招きし、「大学生の発達障がい基礎理解と向き合い方」のテーマのもと講演が行われ、合計44名の教職員が参加しました。

また、講演の最後に行われた質疑応答では、参加者から発達障がいに関する疑問点や、発達障がいを持つ学生への対処方法などについての活発な質問や意見が寄せられ、石川先生よりお一人お一人に対し丁寧な回答がありました。

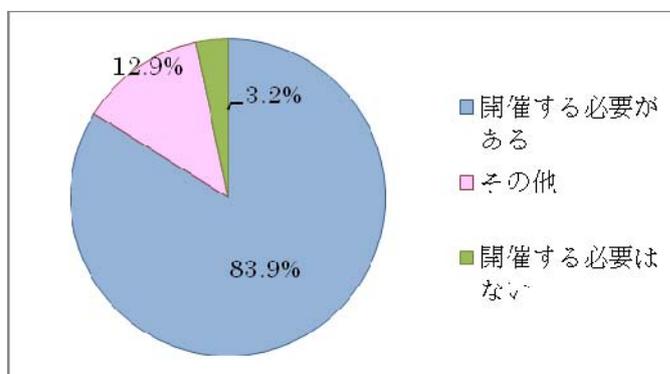


● 講演会アンケート結果

1. 講演内容は学生と向き合う上で参考になると思いますか？



2. 今後も、大学生の発達障がいに関する講演会を継続して開催する必要があると思いますか？



3. 今後はどのような講演が必要と考えますか？

- ・すぐには思い当たりませんが、研修による最新の知見や概念の改正、制度などについて。
- ・各自が体験するものについてワークショップ或いはロールプレイのようなものが学べると良い。
- ・学生の特性を理解した上で教育支援するためには、今回のような講演は必要であると考えます。実際に指導に関わっている方にも講演頂けるとありがたいです。
- ・新人、新任教員には研修として必要。学生にも必要。
- ・学生対処の具体例について
- ・他分野、関連領域の先生による講演（教育、心理、社会福祉分野等）
- ・実習などでのトラブルへの支援をどうするかについての講演
- ・アスペルガー障がい、パニック障がい、PTSD などについて

- ・大学として支援のシステムを考えていく上で参考となるような他大学の例について。また、それ以前に、教職員全員が認識を共有できるよう同じような内容でも繰り返し実施しても良いのではないかと思います。
- ・各キャンパスで行うと良いと思う。
- ・窓口での学生の対応時にこちらが思ってもいない行動・発言等を学生が取った場合、どのように声をかける？態度で示す？のか、具体的なシミュレーションみたいなものを提示してほしい。

4. その他講演会に関する意見

- ・分かりやすい講演で大変勉強になりました。
- ・大学でどう支援するかということは難しいが、発達障がいについて教員が理解する良い機会でした。
- ・少し難しかったのではないかと。もっと予備・事前知識がない人を念頭に話していただけると良かったと思う。
- ・石川先生のお話はユーモアをまじえて問題の本質を語られ、とても感銘を受けました。
- ・学生相談室の充実は急務じゃないですか。
- ・石川先生の話を受ける貴重な機会でありがたかったです。今後も先生の話でテーマを絞って開催していただけたら。
- ・とても興味深く聞けました。支援も大事ですが、多様性を受け入れられる豊かな社会を大学から作っていく必要があると思います。